

令和6年9月9日開会

令和6年度第6回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

令和6年度 第6回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和6年9月9日(月)	教育長 坂元 裕人	教育総務課長 草野 浩一
午後2時	教育委員 田原 正人	学校教育課長 川崎 史明
↓		
午後3時58分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 大山 昭
第2研修室	教育委員 田之上 厚美	
	教育委員 福里 由加	

会議要旨

1 開会

定刻、定足数に達しており、令和6年度第6回教育委員会定例会を開会した。

報告第25号及び議案第16号について、非公開で説明する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 令和6年度第5回定例会会議録の承認について

令和6年度第5回教育委員会定例会の会議録について、承認する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

3 議事

報告第24号 令和6年度大隅地区専門高校フェスタ及び令和6年度大隅地区教育振興座談会開催に係る垂水市教育委員会の後援承認についての専決処分の報告について

報告第25号 令和6年度垂水市一般会計補正予算(第3号)案についての市長への意見申出について

議案第16号 垂水市教育支援委員会答申について

4 その他

(1) 大野地区分収林について

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉会

議 決 事 項

件 名	提案等理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第 24 号 令和 6 年度大隅地区専門高校フェスタ及び令和 6 年度大隅地区教育振興座談会開催に係る垂水市教育委員会の後援承認についての専決処分の報告について</p>	<p>垂水市教育委員会の後援承認について、垂水市教育委員会の行政組織等に関する規則第 22 条第 1 項の規定に基づき、教育長の専決処分事項として専決処分したので、同条第 3 項の規定により報告するもの。</p>		承認
<p>報告第 25 号 令和 6 年度垂水市一般会計補正予算(第 3 号)案についての市長への意見申出について</p>	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定に基づき、市長から教育委員会の意見を求められたが、急施を要したため、教育長の臨時代理により意見の申出を行ったことを報告するもの。</p>		承認
<p>議案第 16 号 垂水市教育支援委員会答申について</p>	<p>垂水市教育支援委員会第 2 条第 2 項に基づき、審議した結果が、答申されたため会議に付するもの。</p>	特記事項なし	承認

議 事 内 容 等

3 議 事	<p>報告第 24 号 令和 6 年度大隅地区専門高校フェスタ及び令和 6 年度大隅地区教育振興座談会開催に係る垂水市教育委員会の後援承認についての専決処分の報告について (資料に沿って説明)</p> <p style="text-align: center;">(承認)</p>
教育総務課長	
教育総務課長	<p>報告第 25 号 令和 6 年度垂水市一般会計補正予算 (第 3 号) 案についての市長への意見申出について (非公開)</p> <p style="text-align: center;">(承認)</p>
学校教育課長	<p>議案第 16 号 垂水市教育支援委員会答申について (非公開)</p> <p style="text-align: center;">(承認)</p>
4 その他	
社会教育課長	<p>大野地区分収林について (資料に沿って説明)</p>
5 委員並びに教育長及び課長報告	<p>委員並びに教育長及び課長報告に入る。</p>
田原委員	<p>夏休み中の話でしたけれども、運動会についてです。 水之上小学校と水之上地区公民館の橋渡しとといいますか、そのような機会がありました。 水之上小学校と水之上地区公民館は、14年前から合同の運動会を実施しています。</p>

コロナ禍で4年ほど、小学校単独での実施になって、その間、私も代わりましたけれども、小学校の校長先生、教頭先生、それから地区公民館の館長、主事全員入れ替わったため、「全く合同運動会を知らない」「どうすればいいかわからない」ということでした。

夏休み中盤のある日に、小学校で話を聞かせて欲しいということで校長先生から申し出がありましたので話にいきました。

「どちらも対等に」「負担にならないように」「しっかりとプログラムや出場選手を決めてスムーズに進行できるように」という考え方は変わらないのですけれども、以前と大きく変わっているのは、「半日実施」ということです。

この後、小学校の競技を主体にして、地域の参加種目を減らしていくとか「半日開催だったら、休憩の時間が15分ぐらいあることから、その時間を含めて、校区で実施するのは3種目ぐらいにする。今後、児童数が減っていくので、そうなったら地域の種目を増やしていくという考え方がいいか」ということを話し合いました。

その結論を早速、地区公民館にも出かけて、館長、主事とも話をし、「また運動会については、地区公民館で会議がありますので、そちらでしっかり話し合って住民の方々にも周知してくださるように」ということでお願いをしました。

長く一緒に実施していないので、小学校の先生方やPTAの方から、「なんで地区公民館と一緒にしないといけないのか」とそんな声が聞こえてきそうですが、これまで14年間の歴史があるということ、一緒にやるのが原則であるということ、保護者だけでなく、地域の人々が参加して子供たちを応援すると運動会も随分盛り上がること、地域全体で子供たちを見守っているという気持ちも生まれてくるのではないかとということを話してくださいということ強調して伝えたところです。

中断して、また始めるのには、最初から始めるときと似たような雰囲気になり、毎年続けていくことは大事だなと思うことでした。

9月7日、垂水高校の体育祭を参観しました。

絶好の天気ですけれども、天気は大変よかったです。

生徒たちが伸び伸びと競技をしていて、さすが垂水高校という情景がいくつもありました。おそらく種目は全部生徒たちが決めたのではないかなと思われるほど、小学校中学校でやってきたことのある楽しめる競技を高校生が真剣にやっていたので、観る方もおもしろかったです。

ほとんどの種目が学年対抗でしたが、上級生に遠慮することなく、タイヤを奪い合ったり、実にフェアプレーでしていたのがよかったです。

途中から日差しが強くなり暑かったです。気分の悪い生徒もおらず、頑張っておりました。

それからもう1つ、保護者席にたくさんの見学者がいました。これも垂水高校ならではのふう思ったことでした。以上です。

教育長

14回重ねてきても、運動会は悩ましいですね。当時は学校職員も、地域の方々も、PTAも、当たり前とわかっていたわけですが、この3・4年、コロナ禍で実施できなかったことで当時を知っている人たちがいなくなっ

	<p>てしまってそういう発言になるのですかね。なかなか難しいです。</p> <p>最後の言葉に表されているのですけれども、「地域全体で子供を、学校を、見守っていくということ」、この地域の役割をまさに形にしていくのがこの運動会でもあると行政の私は思っています。</p> <p>社会教育課が企画した夏休みワンデー市民講座、1日限定の子供親子向けの市民講座の募集が7月にあり、「キッズヨガ講座」「夏休み図画工作講座」「親子料理講座」の3つの講座が、垂水市市民館で夏休みの8月に開催されました。</p> <p>私は、夏休み図画工作講座を担当することになって、8月19日月曜日の午前中、25名の小学生が参加しました。</p> <p>参加者があまりにも多かったことから忙しいと思ったのですが、田之上委員と福里委員に声をかけて参加をしてもらい、手伝っていただきました。</p> <p>この講座は、四つ切り画用紙に「桜島錦江湾」をテーマにした水彩、八つ切り画用紙に「自分が住みたい絵」を描いたポスターなど、夏休みの図画工作の宿題を子供たちは持ってきていました。</p> <p>自分なりに仕上げた作品ですが、その仕上げてきた作品をもう少しだけ詰め込んだ作品にしようということで、一人一人の子供たちに作品を講評し、手直しするところを子供たちに考えさせました。</p> <p>1時間から2時間を使って、子供たちの作品を自分の力によって、きめ細やかな作品、そして力強い作品、落ち着いた作品、そして一人一人の個性の強い作品として仕上げることができました。</p> <p>子供たちはその出来栄えに納得し、さらなる高めを目指すことの喜びに満足した様子でした。</p> <p>この夏休みに描いた図画工作を通して、図画を描き創作すること。工作进行を創作することとは何なのだろうかと考え、次の2学期につなげてくれたらいいなと思ったところです。以上です。</p>
葛迫委員	
教育長	<p>今話を聞いて、やっぱり考えさせるというのは大事なことです。自分の絵の課題は何だということを考えさせて、そこを手直しする。そこに子供たちが満足感、あるいは絵が好きになるというきっかけがあるような気がします。</p>
田之上委員	<p>私も重なりますけれども、葛迫委員の講座と一緒に参加をさせていただきました。多くの子が保護者と一緒に参加をしていて、とても笑ましく思いました。</p> <p>みんな本当に真剣に取り組んでいて、葛迫委員のご助言を受けて、色を塗り込んでいく様子や絵が変わっていく様子を私たちも間近で見ることができました。</p> <p>子供たちや保護者の方ともちよこちよこお話をすることもできて、すごくいい時間だったなと思ったところでした。</p> <p>ただ、このようないろんな催し物がいっぱいあるのですけれども、終わった後に「知っていたら参加したのに」とよく話を聞きます。</p> <p>必ず前もって周知とか案内があるはずなのですけれども、なかなか皆さ</p>

ん、目にとまらないのかなと思います。

また、今は保護者の方もフルで働いていらっしゃる方が多く送迎とかもできないので、参加したくても参加できない子供たちもいるのかなと思っています。大変なことかもしれませんが、何とか行きたい子が行けるように今後対応を考えていただきたいと思います。例えば、私たちが移動教育委員会をするみたいに、中央地区だけじゃなく、場所をちょっと変えてみるとか、何か工夫をしていく必要があるのかなということを感じました。

8月の台風10号は、すごく大きく停電が長く続いた地域もあり、大変だったようです。

児童クラブは、弁当持参で来ていただいたのですが、「停電で食材がなくお弁当がつくれなかったので、バームクーヘンを持たせました」とか、「コンビニに行ったけれども、何にもなくてパンが1個です」とか、あるいは「電気がこなかったので、鍋でご飯を炊いて持たせました」とか、お母さんたちもそれなりにいろいろ工夫をされたみたいでした。

私たちも「お菓子1個では子供たちかわいそうだよね」というので、ご飯を炊いておにぎりをして、みんなで食べたりしました。

台風で困ったことも多かったのですが、それぞれが何らかの工夫をされており、貴重という言葉はおかしいかもしれないのですが、貴重な経験をされたのではないかなと思いました。

まだまだ暑い日が続きますけれども、行事の多い2学期を元気に頑張っ
て欲しいなと思います。

福里委員

私も8月19日にワンデー図画工作講座に娘と一緒に参加しました。夏休みに描いた絵を葛迫委員からアドバイスをいただいて、仕上げるものでした。人数も多く、私は子供だけの参加と思っていたのですが、保護者の方も一緒になって付き添って熱心に仕上げている様子でした。

夏休みの取組として、とてもいい体験だったと思うので、来年度以降もぜひ続けて欲しいなと感じました。

田之上委員が言ったように葛迫委員のアドバイスを受けることによって、絵がどんどん、すごく格段に変わっていき、みんなよくなってきて、「さすがプロだな」と、プロからアドバイスもらうことは、ほとんどないので本当に絵が変わっていくのにすごくびっくりしましたが、参加してよかったなと感じました。

子供たちも夏休みが終わり、中学生は15日の体育祭に向けて練習を頑張っていますが、気温が高いと練習が屋外でできないということで、なかなか練習も進まないようです。中学校も種目数を減らしての開催となっているので、頑張っ
て欲しいなと思っています。

娘たちは2学期の自己紹介カードをタブレットで作っていました。この間、PTAがあったので作った自己紹介カードを見てみましたが、みんなすごく上手に作っていました。

垂水小学校は少し遅れがちだと言われているのですが、いろいろこういう技術を子供たちは使いこなしているのだなと思ったら、すごくうれしく
思いました。以上です。

教育長

ありがとうございました。では、私の方からは、大きくは4点です。台風10号、8月28日から29日かけて一番影響があったのですかね。事前の報道等の割には、子供たち・職員・市民に大きな被害なかったというところはよかったです。こまごま言えば、学校も倒木等や雨漏りなどがあり、いろいろなところに影響があったと思いつつも、風が強かったのですが、雨がそれほど降らなかったのも、これが不幸中の幸いだったのかなという気がします。

ただ、先ほど来、出ていますように停電、これと断水です。特に、北部地区、牛根辺りが非常に困ったというような話を伺っています。そこでペットボトル等の給水を計画的に行っていました。2日ないし3日、暑さにも耐えてもらいながらの生活でしたけれども、大変な中、乗り切っていただいて本当にありがたかったなと思っています。

また、避難所の件です。市民館は社会教育課が窓口だったのですけれども、たまたま2日目、池田議員が避難してきた方々のお見舞いに見えられていました。

その中で、社会教育課の職員、教育総務課の職員の対応が素晴らしかったと、何かというと、受け入れるときの丁寧な言葉遣いだったり、きちんと部屋まで案内したりとか対応の仕方だとかが素晴らしかったということでした。特に関心をされていたのが、ご自宅に帰られるため市民館を出るときも、職員がしっかりついて行って、そして気をつけてお帰りくださいといったような見送りまでしっかりしていたとのことでした。

そのことについて、相手を気遣う言葉遣いとか、見送りまでしてくれるそういう姿勢に、あるいは丁寧な対応に非常に感心されて、帰っていかれました。

たまたま私と社会教育課長がその場面において、我々も議員からそういう評価してもらおうとよかったかなと思うことでございました。

9月1日、市の社会福祉大会が行われ、例年のとおり福祉分野等の長年貢献された方々への表彰がございました。

その後保健福祉作文、最優秀賞を4点、小1、小6、中3、高1という学年の子供たちが発表してくれましたけれども、私が一番感じたのは発達の段階がよく見えるなということでした。

特に、心の成長、こんなふうにして子供は経験を積んで、心が成長していくのだなというのを感じることができました。

子供にとっても、ああいう発表の場というのは自信にも繋がり、貴重な場なのだと改めて感じることでした。

それと認知症の劇があり、笑ったり、面白おかしく見せてもらったのですけれども、一方では、やっぱり考えさせられる、最後は涙も出てくるような、ほろっとくるような劇でした。

全国では認知症の傾向の人を含めて、1000万人の時代が迎えたと言われています。そういう中で、あの劇を見て思ったのが、周りも含めて決して認知症になったからということ悲観することなく、人としての尊厳を保ちながら、どのように共生できる社会を構築していけばいいのかということを考えさせられた時間だったなと思います。

その認知症の劇をされた方は、南大隅町・錦江町の方々に、やっぱりうまかったです、いろんな場面で講演を30数回されているのだそうです。

ユーモアを交えながら、非常に切実な問題を演じておられました。本当にいい劇だなと思ったところです。

3点目は、9月2日から二学期がスタートしました。一番心配しているのは熱中症です。このことについては、学校も重々十分わかっている対応してくれているものと思っています。あと、9月2日の日だったですかね、久しぶりに交通安全立哨、さわやかあいさつ運動で、そこのセブンイレブンの前に立ってみました。

その中で非常に嬉しい場面がありました。昔、私が立っていたころ、すごく気になる当時小学校の1年生か、2年生だった子がこの道路をずっと歩いてくるので、毎朝言葉かけをしたのです。反応をしない子供でしたが、その子が学校の金管バンドで頑張っているのを知っていましたので、あるいは成長してきているのを知っていましたので、「県大会よかったね、金賞だったね」、「九州大会にも行ったんだってね」と言ったら、「ありがとうございます、これからも頑張ります。」と答えて、私をびっくりさせたのですよ。だけど、うれしかったですね。

そんな子が、金管バンドに入って練習をどンドンどンドンする中で、また、ほかの子供たちとの触れ合いながら、こんなふうにして子供は、社会性、ルール、マナーみたいなものを身につけていくのだなというのを見ると、部活動にも通じるのでしょうかけれども、成長の場がまさに金管バンドだったのかなという気がします。あの子の成長を見て驚き、うれしく、感動いたしました。

最後に垂水高校の体育祭です。田原委員からもございましたとおり、本当に生徒がいいです。明るくて、元気で一生懸命で、本当にいい子たちだなと思うところでした。

決して、すねている子もいないし、みんなが一生懸命という感じでした。その中で青春を謳歌して、よき思い出にしたいという思いが、こちらにも伝わってくるような体育祭でした。

来年度は、創立100周年ですので、きっといい記念の体育祭になるのだろうなと思います。様々な手法を凝らした体育祭になることを期待したいなと思っています。以上です。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

8月9日から9月9日までの主な行事等について各課長が報告。
併せて、9月10日から10月10日までの行事予定についてお知らせした。

6 閉 会